

編集委員が選んだ本

『学校が育てた「生きる力」—“お節介”先生、卒業生に会いに行く』

小泉秀人／同時代社／2015年5月／1700円（税別）

今号で著者自身がこの本を紹介しているが、18歳選挙権が実現し、主権者教育が求められている今、時宜に適した書物である。

よくある教育論や著者の自慢話ではない。高校で著者の授業を受けた若者たちが、クラスメートとの交わりの中で互いを尊重し合い、自己肯定感を持って成長して、自分の頭で現代を生きぬいている実話がつづられる。

現代社会の生きづらさの中で、教員生活40年を越えた著者が、生徒と「個人対個人では、対等な人格として立ち現れ」、「民主主義的」で「心地よい」人間関係を作り出していく過程が読みやすい文章で語られている。

卒業後の教え子たちとこれほど付き合っている教員がいるだろうか。著者が提示する「生徒たちと教員とが人格的に対等」という民主主義的な関係は、将来の望ましい社会像を彷彿とさせてくれ、元気がわいてくる。

『18歳からの選挙 Q&A』

全国民主主義教育研究会編／同時代社／2015年9月／1600円（税別）

主権者教育は公民科だけの問題ではないが、じっさいどうすすめるか、と頭を悩ませておられる方々に、ぴったりの1冊。

政治的中立って？高校生も選挙運動してもいいの？政策についてどう討論したらいいか？模擬投票のやり方は？特にいいのが、対立する論点についてのコンパクトな紹介だ。原発、景気対策、消費税、憲法改正、集団的自衛権……”すぐ使える“資料だと思う。

『特攻——戦争と日本人』

栗原俊雄／中公新書／2015年8月／820円（税別）

特攻は、生還を前提とした作戦とはまったく違う次元の作戦だと著者はたびたび指摘する。特攻がどのように始められ、そしてその異常が常態化した瞬間を明示した。その中で大西瀧治郎を様々な史料から詳細に冷静に記述している。大西からみた特攻ではなく、特攻という事象にどう大西を位置づけるのが本書だと言える。大西を含め、特攻を直接命じる者が一度は特攻の導入に躊躇している場面も筆者は描く。だからこそ生き残った者は自分の都合のいいように、「命じられた彼らは望んで果敢に特攻へ往った」と主張する。丁寧に描くことで、「特攻は仕方なかった」などという言い訳をさせないことが企図されていると感じる。類書は著者も言うようにたくさんある。繰り返し繰り返し語っていくことが大切だ。

『湯川博士、原爆投下を知っていたのですか』

藤原章生／新潮社／2015年7月／1400円（税別）

湯川秀樹といえば日本人初のノーベル物理学賞を受賞し、のちに科学者の社会的責任を主張して反核平和運動を担った人である。その湯川の下で理論物理学を猛勉強して愛弟子となった森一久は、のちに日本の原子力業界の実力者になった。それは、推進派の政治家・財界人と出会う中で、広島で被爆した自分こそが原子力を安全にコントロールしなければならない、と考えたからだ。

第一線から退いた森はある時、京都大学で湯川の同僚西村秀雄教授が広島出身の学生に「広島に新型爆弾が落とされるから家族を疎開させた方がいい」と進言し、そのとき湯川も同席していたという証言を得た。湯川は広島への原爆投下を知っていたのか？知っていたとしたら、なぜ湯川は広島出身の自分（森）には危険を知らせてくれなかったのか？なぜその後、湯川は自分（森）を大切に希望した就職（ジャーナリスト）の斡旋もしてくれたのか？なぜ湯川は自分（森）に原子力の監視役を托したのか？——そんな森一久がひとり謎を解き明かそうとしていた時、湯川の本音に関心を持つ著者（藤原章生）と出会う。真相はいかに。

『日本史学』

保立道久／人文書院／2015年9月／1900円（税別）

多くの名著を少ない枚数で紹介した本であり、手にとって短時間で読めるのありがたい。学際分野とアイヌと琉球については新しい著作を紹介しているが、多くは比較的過去に書かれた本を取り上げている。それを現在に即して読み直しており、価値を示している。時代を超えた名著だからこそ、その読みに堪えられる。多彩な時代やジャンルに触れて研究史整理をしてくれているので、日本史の授業でテーマ的に教材を用意する時に、この本での紹介を手がかりにすると効率が良さそうだ。

『民主主義ってなんだ？』高橋源一郎×SEALDs／

河出書房新社／2015年9月／1200円（税別）

この本のもとになっている対談は、2015年8月13日と14日に行われている。当時の国会前で、「自分の言葉」で語る若者たちがいた。彼らはなぜ立ち上がったのか、彼らは何を考えているのか。あっけらかんと率直に語っていて、読んでいて何度も笑ってしまう。

この本のなかには、まぎれもなく、いまどきの、どこにでもいそうな若者たちがいる。その彼らの「民主主義ってなんだ？」と考えるみずみずしい感覚、民主主義を平気で踏みとじる者たちに怒るまっとうな考えに、日常の中で錆びついてきた自分が洗い流される。

定価（本体200円＋税） 編修・発行 実教出版株式会社 代表者 戸塚 雄弐
 2016年3月25日 印刷 発行所 〒102-8377 東京都千代田区五番町5 Tel.03-3238-7777
 2016年4月1日 発行 <http://www.jikkyo.co.jp/>